

令和2年度庄内町振興審議会 第1回文教厚生分科会 会議録

- 1 開催日時 令和2年9月16日(火)19時00分～20時分
- 2 開催場所 役場 B棟2階 会議室2
- 3 出席委員 梅木均、海藤喜久男、田澤富雄、佐藤道子、佐藤あゆ子
- 4 欠席委員
- 5 事務局 阿部課長補佐兼企画調整係長、太田主事

1 開 会 (19:05)

2 分科会長あいさつ

前回は身内の不幸で欠席せざるを得なくなってしまい申し訳ありませんでした。

1回目の全体会の流れも理解しておりませんで、この回もスムーズに進行できるか不安な部分もごございます。みなさまにご協力いただいてなんとか進めていきたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。

3 協 議

(1) 第2次総合計画後期基本計画(案)に対する質問・確認事項について

協議の概要

■ヒアリング除外項目

P16: 1-1 子育て支援 全般 1-1-3～1-1-5 で、文書中に「～とともに～」という言葉が多い
⇒文言の修正のみのため

P18: 1-1 子育て支援 ベンチマーク③計画値16,400が実績値の230%になっている考え方
⇒新支援センター開設R2.5以降の実績値から算出の旨説明済み【注釈を入れる】

P27、35 全 般 主要施策の具体策の文末が「です。ます。」調になっていない
⇒文言修正のみのため

P27、35: 1-4 地域福祉 1-4-4 地域福祉に関する活動への住民参加の促進 ④心のバリアフリー化
⇒「心のバリアフリー」に修正

P42: 2-1 幼稚園・学校教育 ベンチマーク⑥ ⇒ 修正

■ヒアリング事項

2-1 幼稚園・学校教育	○ベンチマークについて 町立幼稚園は入っているが、保育園(民営含む)のデータは入らないのか。 また今後の立川地域の数値はどうなっていくのか。
--------------	--

	<p>○全般</p> <p>自分はどこに立脚しているのか、自分はどこに根を張っているのか、この意識の薄弱さが、昨今常識を逸した事件や社会問題を引き起こしている原因となっているように思う。地域との関わりが薄くなっており、地域と自然が密着した様々な体験機会も減少している。ふるさと教育という視点の施策があるが、現在どのような取り組みをしているのか。</p>
第1章全般	<p>○全般</p> <p>それぞれの分野で主要事業が追加され、より具体性が見えてきたと思う。しかし、いずれの分野にも「包括」支援事業という施策が見受けられるが、それぞれどのような組織、運営、目標（活動内容からの実績）を目指しているのか。</p> <p>・子育て世代包括支援センター事業</p>
2-2 社会教育	<p>○2-2-2 町民が共に学び続け、生きがいをもてる環境づくりの推進 ②について</p> <p>コミセンに移行した場合の管理者についてはどのように考えているか。公民館とコミセンの違いについて調べてみて大まかには理解したつもりだが、それは法的な違いであり、具体的に庄内町では管理者についてお聞きしたい。</p> <p>（どのような人がどのような立場で等）</p>
関連： 6-2 コミュニティ	<p>コミセン化によって、生涯学習活動への取り組みが高まるのか。</p>
2-4 スポーツ	<p>○全般</p> <p>社教とスポーツ協会と総合型地域スポーツクラブとのかかわり方と、社教と芸文協と響ホール事業推進協議会とのかかわり方について違いや、今後の在り方について考えがあるか。</p>
2-5 文化芸術・文化財	
2-5 文化芸術・文化財	<p>○全般</p> <p>民族芸能等の伝承活動において、現在は地域や地区の狭い範囲での伝承保存を行っていると思うが、もう少し広域での伝承は考えられないのか？</p> <p>獅子踊りや奴っこ振り等各地域の祭りで奉納するためのものであると認識しているが、その際の宗教と文化との考え方によってかかわり方が違ってくと思う。あくまでも地域の文化と考えた場合には、集落の伝統芸能ではあるものの、地域の枠にとらわれず伝承者を集める範囲を拡大することができるのではないかと思います。いかがか。</p>
2-3 青少年健全育成	<p>○2-3-2 庄内町の自然・歴史・文化を生かした体験の充実と共有化</p> <p>町独自で行事などの事業に取り組むのか、それとも利用者に自主的に施設を使ってもらえるように整備・宣伝するものなのか（ベンチマーク②が施設の利用件数だったため）</p>
1-4 地域福祉	<p>○1-4-1 包括的な支援体制の整備</p> <p>③わかりづらい。包括的相談支援体制と包括的支援体制とあるが、もう少し簡潔にわかりやすくないか。</p>
1-5 保健・医療	<p>○現状と課題</p> <p>現状と課題の中で最後に「また、医療機関については・・・」とあるが、診療所医師の高齢化の課題について施策がないのはなぜか。</p>

	また、昨年度の答申の中に小児科誘致についてもあったはずだが、それについてはどのように考えているか。
1-6 社会保障	○1-6-4 貧困・格差対策の強化（重層的セーフティネットの構築） ②もう少しわかりやすくしたほうがいいのではないか。具体策が見えてこない。
1-2 高齢者支援	○1-2-3 介護サービスの提供 居宅サービスの充実について、ホームヘルパーの確保の見通しはいかがか。
	○ベンチマーク②について 施設介護サービス利用件数とはどのようなものか。
	○ベンチマーク④について 介護認定率の算出方法について。
	○1-2-3 介護保険サービスの提供 介護予防、健康づくりは大変重要だが、その拠点整備の考え方は現状維持とある。今後も高齢化が進んでいく中で、サービス供給体制の充実とあるが、どのような対応を考えているのか。

以下、会議録

【事務局】 配布資料について説明

【会 長】 ヒアリングに備えての質問事項ということで、挙げていただいたものを各自ご説明いただきたい。

【佐藤道子委員】 重要施策具体策の文末の表記について、ほとんどのページが「です」「ます」調になっているが、P27、35のみ他のページと標記が異なるため統一が必要では。P16「～とともに～」という表記が多く内容がつかみにくい。無理やり2つのことを1つにまとめたように感じる。P27:1-4-1③意味が分かりづらい。もっと簡単な言葉で表せないのか。また、1-4-4④「心のバリアフリー化」とはなにか。インターネットで用語を調べたが「化」をつけているところはない。P29 診療所医師の高齢化について問題と書いてあるが、解決のための施策がないのはなぜか。また、小児科誘致については昨年も伺っていたが、進展はないのか。P35:1-6-4②もっと簡単な言葉で書けないのか。また、具体策が見えてこないの伺いたい。P42 指標名⑥はベンチマークを達成していないように見えるが、実績値が計画値を上回った要因が記載されている。間違いでないのか。

【事務局】 P42の表記は間違いだと思われる。

【佐藤道子委員】 では、修正願いたい。P45:2-2-2②コミュニティセンター移行後の管理者については具体的にどのように考えているのか。以前から指定管理者のなり手不足や人材育成について問題になっていた。P50 社教とスポーツ協会、スポーツクラブとの関わり方および社教と芸文協、響ホール事業推進協議会との関わり方について。違いや今後の在り方について伺いたい。P53 民族芸能の伝承について、後継者や資金不足で難しい状況とある。宗教などの問題もあるが、文化を伝承してくために、集落単位で実施していた行事を学区で実施し、人材を集めるという方法は考えられないのか。

【田澤富雄委員】 P18 子育て支援センター利用者数について、令和元年の実績値 6,878 に対して令和

7年度計画値が16,400と大幅に増えている。この根拠について聞きたい。P20介護サービスについて、施設そのものは維持する方向だが、実際に働くホームヘルパー等が不足していると聞いた。確保への見通しはあるのか。P21指標名②「施設介護サービス利用件数」とは具体的に何を指すのか。同じくP22指標④「要介護認定率」とは具体的に何を指すのか。65歳以上を対象にした要介護の率なのか？これらを伺ったうえでベンチマークが妥当なのか判断したい。

【海藤喜久男委員】みなさん大変よく読み込まれているが、自分は読み込みが不足していた。興味があった部分2点あげさせていただいた。P19高齢者支援について、高齢化社会の中で、施設等にお世話にならなくとも自分で生活してけるような健康づくりは今後大変重要なことだと思う。計画には拠点となる施設整備等は現状維持、介護予防は充実させると記載がある。今後高齢化が進んでいく中で、具体的にどのように充実させていくのか。P38からの学校教育について、社会で問題を起こしているような人、具体的には人を傷つけたり怪我をさせたりするような人が頻繁に出ている。現在は家庭、地域、ふるさとでの認識や関わりが不足しているのではないかと感じる。先程地域の祭りの伝承の話もあったが、それによって子供たちが地域と交わっていく機会も不足してくるように思う。自分のふるさとはどこなのかという教育は今後大事になってくると考えている。計画にも「ふるさと教育」という記載があるが、現在はどんなことをしているのか。今後充実させていく方向性はないのか。

【佐藤あゆ子委員】書ききれなかった部分は口頭でご説明する。全体的に、町民アンケートグラフの回答で「どちらともいえない」がどの項目でも多い。当事者感や身の回りへの興味関心がない感じがして寂しい。P22町民等に期待される主な役割について、「自助・公助を基本とし」とあるが、『公助』という言葉があった方がいいのではないかと感じる。また、障害に対する理解促進と同様、高齢者の皆さんに対する理解を若い世代にも求めるような支援があればいいのでは。P24障害者支援について、表記のしかたでひらがなと漢字が混在しているがこれでいいのか。P24:1-3-5①バリアフリーユニバーサルデザインとある。役場の庁舎はもちろんだが、その他にどういった場所で推進していくのか具体例を聞きたい。P35国民年金制度について、納入推進の周知はもちろん大切だが、納めなかった場合のデメリットなども併せて詳しく周知すると興味が深まるのではないかと感じる。P40:2-1-2インクルーシブ教育について、前のページには単語の説明があるが、このページにも説明があったほうがいいのではないかと感じる。P40:2-1-3ベンチマークをみると、幼少中の連携となっている。庄内町は幼稚園も町立で教育委員会でも連携がとれていると思うが、保育園や認定こども園などの民営事業所との連携はどうか。庄内町教育振興基本計画の中には幼稚園と保育園との連携についても記載があったようだが。P46コミセン化すると生涯学習活動への取り組みが高まる可能性が高いのか疑問に感じる。P48大中島自然ふれあい館（森森）について、ベンチマークが利用件数となっていたが、今後町独自で行う行事に積極的に使うことで件数を伸ばすのか、町民の方に使っていただく工夫をして伸ばすのか。以上が記載した内容。ここから記載していないことをお話しさせていただく。伝統芸能について、文化教育と青少年健全育成が交わってくる部分であり、部署をまたいで連携した方が充実するのではないかと感じる。伝統芸能がある集落の子どもと新興住宅地で伝統芸能がない子どものマッチングなど試してみてもどうか。P31子育て支援について、小児科がないことは問題ではないかと感じる。第2期庄内町子ども・子育て支援事業計画のアンケートでも子供の医療機関整備が大きなニーズと

してある。町民が熱望しているものとして認識する必要がある。

【会 長】第 1 章について主要施策が新規に増えており、その中に「包括」という言葉がよく出る。包括という言葉だけでは、その事業によって具体的にどういう実績がうまれてくるのかよくわからない。また、関係部署との連携がうまれるはずなので、どのように取り組んでいく考えなのか。追加項目の中の引きこもり、自殺対策対事業について、今後新しく進めるにあたっての指標について聞きたい。社会教育について、共助という言葉が無いようだが考えを聞きたい。その他、ヒアリングの中でさらに聞いてみたいことが出てくるのではないかと思う。(一通り説明は終わったが) 本日の進め方としてはこれからどうしていくか。

【事務局】文言の修正についてのヒアリングは不要と思われる。事務局で一部説明させていただく。P27、35 について、条例の作り方に倣っている部分がある。指摘のとおり修正。P16 第 2 期庄内町子ども・子育て支援事業計画から引用している可能性があるため修正。P27「心のバリアフリー化」修正。P31 小児科誘致についてはヒアリングした方がよい。P35 もヒアリング。P42 は指摘のとおり修正。P45 コミセン化については P120 でも触れている。内容は指定管理の人材についてということなので社教へのヒアリングでよいか。コミセン化は町長部局が担当。

【会 長】コミセン化については自分も会議に出ているがよくわからない。指定管理とコミセン化の違いは何か、資金面はどうなのかといった部分をこの機会に担当から具体的に聞いてみたい。

【佐藤道子委員】響ホールも指定管理の際かなりもめた(受けてくれる人がいなかった)。各学区公民館は受けてくれそうな団体があるのか? 町内会長の団体が受けたとしても役割など難しい。

【事務局】コミセン化は企画情報課が担当。ヒアリングの日程が他の分科会と重なるため、調整が必要。総務分科会からもヒアリング事項として出ているので、どのように進めるか検討する。P24「障害」の表記の違いについて、町独自の計画や事業はひらがな、県・国の事業は漢字になっている。説明を追加する。その他、カタカナの単語については説明を掲載する。

【会 長】前期計画には語句説明があったのか。

【佐藤道子委員】教育の計画では、最後の方に語句説明のページがあってわかりやすい。

【事務局】数は多くないので 1 ページにまとめることは可能。P40 子育てについては、行政の縦割りの関係でこのような形になっている。第 2 章は教育振興基本計画との整合性をとっている。総合計画は前期からの構成の関係で部署をまたいで掲載することができない。第 3 次は分野も変更して作るかもしれない。新規事業がどれだけ増えたのかは事務局でも把握しているが、福祉関係は特に多い。

【会 長】「包括」とすると他の課との関わりが生まれてくるはず。

【事務局】「包括」の具体的な意味はヒアリングするべきか。事務局からは以上。

【会 長】田澤・海藤さんは付け加えることあるか?

【田澤・海藤委員】特になし。

【事務局】幸福度アンケートについて説明

【佐藤あゆ子委員】ベンチマークに違和感がある。

【事務局】ここから大きく変えるのは難しい。幸福度の向上につながるような主要施策にマークを付けるなどはできるか。

【佐藤あゆ子委員】分科会を超えてしまうが話ししたい。町民憲章に「しぜんを愛し」とあるが、基本計画には全く反映されていない。新エネルギーや環境衛生の部分に「自然を愛する」のような施策がない。SDGsにはある。最近ニュースにもなったが、風車がモニュメント化していないか。風車があったら庄内町は環境にやさしい町なのか？全体的な自然環境教育の施策が全くないのが残念。

【佐藤道子委員】総合計画の冊子は誰に配るのか。予算では300部とあるが。

【事務局】役場管理職、審議会、議会等。その他ホームページに掲載。町民の大部分が見るようなものではない。

【佐藤あゆ子委員】それが町民アンケートの「どちらでもない」という回答に繋がるのではないか。また、項目によっては記入内容の量に格差がある。

【事務局】先程説明がもれてしまったが、P18子育て支援センターの利用数について。新しいセンターが開設して数カ月ではあるが、利用者数が多くなっている。開設から現在までの経過を踏まえて作成した数字。その旨の説明を付け加えればヒアリングは不要か。アンケートグラフについては、前回のパーセンテージとの比較で増減をわかるようにしている。ヒアリングは不要か。

【会 長】文言修正、注釈の追記で解決できるもの以外をヒアリングにあげることとする。協議は以上とさせていただきます。

4 その他

23日 海藤さん以外は出席できる予定

5 閉 会 会 長

(20:27)